

授業科目名 <英訳>	民俗学ゼミ Folklore Studies				担当者氏名	人文科学研究所 助教 菊地 暁			
群	拡大群	系列	人社系	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講期	前期	受講定員	5人	配当学年	1回生	対象学生	全学向		
曜時限	水5			教室	1共22				
キーワード	民俗（民間伝承） / 民俗学 / 人生儀礼 / 信仰・祭礼・芸能 / 口頭伝承								
【授業の概要・目的】									
民俗とは、普通の人々が日々の生活のなかから創り上げ、受け伝えてきたコトバ、モノ、ワザといったものの総体である。そして民俗学とは、そのような民俗を、文献には決して書き残されることのなかった普通の人々の歴史を探る糸口として発見した学問である。本ゼミは、民俗学の目的と方法を、その創始者・柳田国男（1875 - 1962）の学問的生涯に即して概略した上で、人生儀礼、信仰・祭礼・芸能、口頭伝承どの個別分野についてとりあげる予定である。									
【授業計画と内容】									
以下のトピックにつき、ゼミを行う。									
1．使用上の注意 2．民俗学の方法 3．そだつ - 人生儀礼 - 4．めとる - 婚姻 - 5．とむらう - 葬送 - 6．生活史作成の注意 1 7．いのる - 信仰 - 8．まつる - 年中行事 - 9．おどる - 民俗芸能 - 10．生活史作成の注意 2 11．つたえる - 口頭伝承 1 - 12．なづける - 口頭伝承 2 - 13．ものがたる - 口頭伝承 3 -									
【履修制限の方法】									
受講定員を超える受講申込があった場合は無作為に抽選を行います。									
【履修要件】									
「民俗学」講義（水4）を併せて履修のこと。諸般の事情により履修のできない場合は、補足のための課題を課す。その他、必要な作業は随時指示する。									
【成績評価の方法・基準】									
ゼミへの参加の積極性およびプレゼンテーションにより評価する。									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
（参考書）									
菊地暁 『柳田国男と民俗学の近代』（吉川弘文館）ISBN:BA53593061									
菊地暁 [編] 『身体論のすすめ』（丸善）ISBN:4621075985									
高取正男 『日本的思考の原型』（講談社）ISBN:4061158066									
民俗学ゼミ(2)へ続く									

民俗学ゼミ(2)

その他、授業中に適宜紹介する。

[その他（授業外学習の指示等）]

「民俗学」講義（水4）を併せて履修のこと。諸般の事情により履修のできない場合は、補足のための課題を課す。その他、必要な作業は随時指示する。